

第 12 回大阪大学野田村サテライトセミナー(子どもコース)

「野田村サテライトへ行ってみよう」

2014 年 2 月 11 日、大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラムのもと開設された「大阪大学野田村サテライト」にて、「第 12 回大阪大学野田村サテライトセミナー：野田村サテライトへ行ってみよう（子どもコース第 3 回）」を開催しました。本セミナーの目的は地域の子どもたちとの交流であり、今回、小学生以下の子どもをサテライトへ招き、方言かるた大会（岩手弁・関西弁）、「FM のだむラジヲ」体験、たこ焼き屋台体験、3 つの内容からなる参加型セミナーを実施しました。

今回のセミナーには、22 名の小学生以下の子ども、3 名の保護者を含む地域の方、計 25 名の方々が参加してくださいました。遠隔教育システム「ハイパーミラー」を新たに導入・使用し、大阪大学との交流型中継の実施も実現しました。

約 2 時間にわたるセミナーは、方言かるた大会（岩手弁・関西弁）で幕を開け、次に「FM のだむラジヲ」体験、そして最後にたこ焼き屋台体験をもって終了しました。

方言かるた大会では、岩手弁、関西弁で書かれた 45 札のかるたを使用し、子どもだけでなく主催者も一緒に、遊びを通じて知るお互いの言葉の違いを楽しみました。岩手弁の読み札は地域の方に、そして関西弁の読み札は中継先の大阪大学の方に読んで頂きました。両地点の参加者が同じ空間にいるかのように見せられる「ハイパーミラー」の技術によって、空間を越えた交流の新しい形を垣間見ることができました。子どもたちは「ハイパーミラー」のカメラや映像に、強い関心を寄せておりました。



方言かるた大会の様子



方言かるた大会の様子

次に、「FM のだむラジヲ」体験では、サテライト内に実際の機材を設置し、子どもたちはラジオ収録現場を体験しました。現地の方々によって開局準備段階にある「FM のだむラジヲ」に、子どもたちにも現時点から慣れ親しんでもらう場として用意しました。実際に

マイクに向かって話しをたり、自分の声がラジオから聞こえてくる珍しい体験に、終始子どもたちは関心を示していました。また、本セミナーで収録された音源は、後日の試験放送の中で放送される予定です。



「FM のだむラジヲ」体験の様子

最後に、本格たこ焼き器と多様な具材を用いたたこ焼き屋台体験では、大阪名物たこ焼きに子どもたちは列を作り、美味しく食べてくれました。食を通じた交流の場となりました。

セミナー終了後、「2 時間があっという間だった、もっと遊びたい」「楽しかった」と話してくれる子どもの様子から、本セミナーが子どもたちにとっても楽しい場となったことが伺えました。地域の子どもの交流という、本セミナーの目的に沿った内容であったかと振り返ります。地域の子どもたちとの、今後の継続的な交流に繋げていきたいと思います。

「第 12 回大阪大学野田村サテライトセミナー：野田村サテライトへ行ってみよう（子どもコース第三回）」も大変充実したものとなりました。野田村サテライトセミナーでは今後も様々なコースを設け、多くの方に参加していただけるセミナーを目指します。また、サテライトに導入されたシステムを存分に活用し、サテライトでの研究・教育に参加できるシステムをさらに充実させていきます。次回は 2014 年 3 月 11 日です。